

行政情報の流出についてのお詫び

町 民 の 皆 様 へ

すでに、新聞・テレビ等で報道されているところではありますが、町職員の個人用パソコンがウイルスに感染し、パソコン内に保管されていた行政資料がファイル交換ソフト「**ウィニー**」のネットワーク上に流出していることが分かりました。

このことは、総務省から通報を受け、内部調査を進めた結果、平成 14 年 4 月から平成 16 年 10 月ごろにかけて作成されたものが、本年の 2 月ころ流出したことが判明したものです。

○資料の内容は町の**予算・決算資料や、業務用記録写真、税・料の収納関係情報**など、私的文書を含めると全部で 1,813 件あり、このうち、行政情報に該当するものが 1,624 件でありました。また、この中には、**氏名などの個人情報**が記録されている文書が 54 件で、642 人分が含まれていたものです。

私どもの情報管理が不適切であったことによって、多くの方々に多大な御迷惑とご心配をお掛けすることとなり、誠に申し訳なく、心からお詫びを申し上げます。

また、個人情報に記載されていた方々に対しては、早急にお詫びの文書を送らせていただいております。

○幸いにも、現時点では、情報の不正使用等の事実は確認されておりませんが、再発防止のため直ちに全職員に対し、行政情報の外部持ち出しや、ウィニー等のファイル交換ソフトの使用を禁じたところであります。

なお、一部に**住民基本台帳ネットワーク**から、町民の皆さんの個人情報外部に漏れたとの印象を与える報道がありましたが、そのような事実はなく、その可能性もないことを申し添えます。

○いずれにいたしましても、町民の信頼回復に向けて、行政情報の管理については更なる強化に努めて参りますことを申し上げ、お詫びといたします。

平成 18 年 3 月 31 日

斜里町長 午来 昌